

パティスリーシャノン

母への愛から生まれた

介護用ズボン「おはなちゃん」

母親の介護の経験から生まれた
介護用ズボン「おはなちゃん」
をPRする玉川さん(福井市)



福井の洋菓子店 来月から販売

洋菓子店のパティスリーシャノン(福井市大島町山崎)は、要介護者の移動の際にはかせる力がかけやすく、着脱がしやすい介護用ズボン「おはなちゃん」を10月から販売する。代表の玉川敏清さんが母親の介護での苦勞を基に考案し、姉の縫製で試作した手作り品が発売点。玉川さんは「経験から生まれたズボン。要介護度が高い高齢者らへの助けになる」と話している。

玉川さんが2年前に他界した母親の介護で苦勞したのは、ベッドから車いすな

どに移動させる際、体を抱えるとパジャマなどの生地が伸びるため、力が十分にいらなかったことだったという。母親の体にも負担がかかったため、伸縮性の少ない布でズボンを作れば互いの負担が楽になると考えた。

素材を検討し、伸縮しにくいポリエステルを採用。洗濯後に乾きやすいのもメリットという。さらに足が入る部分から腰回りにかけて2本のファスナーを渡し、紙おむつのように前側を開くことができるよう工夫。着脱が簡単になった。

縫製が得意な姉に試作を依頼して使用していたところ、介護施設の職員から勧められて製品化した。

フリーサイズで価格は3千円。赤、青、黒、黄の4色ある。当面は店舗で販売。問い合わせはパティスリーシャノン(☎0776・38・6358)。